

# 洛東の丘

～校長室から 洛東生の皆さんへ～  
令和2年10月16日(金)第20号

## 今週の四字熟語

猪突猛进(チョトツモウシン)

猪が猛然と突き進むように、状況を考えずに猛烈な勢いで物事をす

## ☆中間考査が終わり 来週は面談週間です☆

元気いっぱいの学校祭が、そして今週火曜日には中間考査が終わりました。皆さん、しっかり切り替えて取り組むことができたでしょうか。考査直前にはいつも「あ〜もっと早く取り組んでおけば良かった。」「こんなことなら授業中にもっと集中しておけば良かった。」「ノートをコツコツまとめておけば良かった。」などが頭を巡っている人が少なからずいるかもしれません。しかし考査が終わり、ホッと一息つくといつしかその反省を忘れてしまう・・・という繰り返しになっている人はいませんか？

点数が何点だった・・・ということはもちろん気になるところだと思いますが、それよりもどこが理解できていて、どこができていなかったのか。またそれはなぜなのか。学習方法が原因なのか、学習時間なのか、またはもっと別のところに理由があるのか・・・などを分析し(ふり返り)、良かった人はより一層、課題のあった人はその克服に向けて、今すぐ次の一步を踏み出しましょう!

そして、来週は面談週間です。担任の先生をはじめ、色々な先生から進路や日常について話を聞いてもらいアドバイスを受けることのできる絶好のチャンスです。そしてこのチャンスはすべての人に同様にあります。活かすも棒に振るも自分次第です。「自己を一層改善する」「これまでの自分を逆転する」ことは絶対できます。皆さんの奮起を期待しています。



## ☆10年 ひと区切り☆彡（私事で恐縮ですが・・・）

20歳のとき、10年後の自分はどうなっているんだろう・・・と、ふと思った。その時から10年をひとつの節目として目標を持って生きようと決めた。・・・はずだったが、30歳のとき、そこにいた自分がいまよりも子供すぎて「え？30歳ってもっと大人なはずやな？何してんの俺？」と、なんとも情けない胸中だった。妻も子もいて家のローンもあって、一応やっけることは「大人」なのだが、20歳のときとたいして変わらない自分がいた。それなら・・・とそこから10年後、40歳は今と変わらない若さ（ある意味幼さ）でいよう。若い人達の実感が十分理解できる40歳になろうと決め、おそらくそれはそうなるだろうと根拠のない自信もあった。（ちなみにあいみょんなどを自然に理解できる自分がいるので、今もますますの感覚ではないかなと自負している。）

そして40歳・・・自分で言うのも恥ずかしいが、結構若いまま年を重ねることができたと思う。しかし、次の50歳という年齢はまったく想像できなかった。そこで、「有名人でバリバリの50代に触れてみよう。」「今まで拒絶していたものを受け入れてみよう。」の二つを考えた。色々探したあげく、前者は「矢沢永吉（ミュージック）」と「星野仙一（プロ野球監督）」とした。二人とも50代とは思えない圧倒的な存在感で、それぞれの業界に君臨していた。しかし、実はこのときまで二人のことはどちらかと言うと嫌いだった。永ちゃんはインタビューなどで「ヤザワって良い曲描くんですよ。」と自画自賛タイプだし、星野さんは負けているとベンチで選手がびびるくらい暴れることもあったと聞く。しかし、敢えてハマってみた。永ちゃんの曲は全部集めたし、ライブも行くようになった。星野さんの講演も聴きに行き、ファンでもなかった阪神タイガースを応援するようになった。もうひとつ。

「拒絶していたもの」・・・昔からバイクが好きだったが、「こんな狭い日本ででかいハーレーに乗ってるヤツはアホちゃうか。」などと思っていたし、時計については時間さえわかれば良いのだから「ブランド物なんか持つ必要ない。」という主義だった。が、ハーレーとブランドの時計をローンにまみれて購入した（妻に感謝です）。つまり、永ちゃん・星野さん・タイガース・ハーレー・時計・・・すべてこれまで遠ざけていたものを身近に感じる10年間としてみた。どれもこれも触れてみるとこれまでとは違った世界や、またそれを通して出会う人達がいってハマってみて良かったなと思っている。そして50歳。「10年後は還暦で定年退職かぁ・・・」となんとも言えないモヤモヤした気持ちになったのを覚えている。そしてそれを振り切るように、60歳を迎えるときのテーマを「復活」ということにした。まあ何をもって「復活」と言うのかわからないが、要するに60歳で老け込まずにもう一度若い時のような体力に戻す・・・ということ考えた。このときは40歳からの10年間のように「物」や「人」とは違い、自分自身の「ルーティン（習慣）」というものを見直すことで自分を見つめながら歩いてきた。最初から多くの、または新しいことを加えたのではなく、取り入れられそうなものにアンテナを張り、今までのものを改良したりと、無理なく作っていった。健康管理や仕事の能率向上・或いは趣味の充実など、多岐にわたるが苦痛ではない。身体の一部となったような感覚だ。

ところで最近あるバラエティ番組で「郷ひろみ」が半生を語っていた。これまで「郷ひろみ」など見向きもしなかったが、その時はなぜかわからないが興味を持ったので、彼の書いた「黄金の60代」という本を読んでみた。まあ・・・65歳にして、あの体型を維持し、あれだけのパフォーマンスが可能なのだから相当ストイックなのだろうとは思っていたが、想像以上のルーティンをやりきっている人だということがわかった。もちろん、財力や環境が違うので無理なこともたくさんあるが、今一度自分を振り返るきっかけとなった。今年、ついに還暦。つまり10年後は70歳・・・自分としては受け入れがたい年齢だが、その時を迎えても「今が最高！」と笑っていたい。

# 頭の体操

前号の答え

$$\begin{array}{r} 5 + 5 + 3 = 13 \\ + \quad + \quad + \\ 3 + 4 + 2 = 9 \\ + \quad + \quad + \\ 6 + 6 + 1 = 13 \\ \parallel \quad \parallel \quad \parallel \\ 14 \quad 15 \quad 6 \end{array}$$